

JA しまね ちひより

2026

3

March
Vol.120

*Shimane
Biyori*



特集 野生鳥獣による被害を防ぐために



YouTube



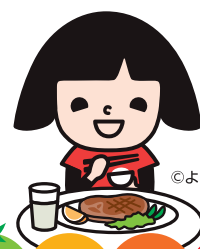
Instagram



LINE



SNSで旬な情報を
投稿しています



©よい食P



しまねの
ファーマーズ
Shimane farmers



誰でも使いやすいことから消費者から安定的に需要のあるホウレンソウ

ハウスで育てる季節の野菜

松江市玉湯町の山あいには並ぶハウス。外の冷たい空気とは対照的に、温かなハウスの中には、一面に濃い緑色のホウレンソウが栽培されています。

このハウスを管理しているのが、石川芳廣さん。両親とともに、10棟のハウスで野菜づくりをしています。春は野菜苗、初夏はトウモロコシ、夏から秋にかけてトマトとキュウリ、そして冬はホウレンソウと白カブ。作物をリレーのように栽培することで、年間を通してハウスを活用してい



石川さんのハウス

ます。

農家に生まれた石川さんですが、小さい頃から農業を継ごうと思っていたわけではなかったといえます。そんな中ではありました

が、進学先には農林高校を選択。その後、東京農業大学に進み、関東で高校の講師として教壇に立っていました。しかし、最終的に選んだのは、後継者を育てる立場ではなく、自ら農業に向き合う道でした。24歳で島根にUターンし、家業を手伝い始めました。

自然体で向き合う農業

当初は両親が中心となって農業を行って



台木に穂木を挿しこむ野菜苗づくりの作業をする石川さんと石川さんのご両親

いしかわ よしひろ
石川 芳廣さん

今月ばかりにびき地区本部。松江市玉湯町でホウレンソウやトマト、野菜苗などの生産に取り組んでいる、石川芳廣さんにお話を伺いました。



て、石川さんは「手伝い」の立場でした。作業が終われば時間は自由で、人間関係のストレスも少なかったといえます。「もともと人との付き合いがあまり得意じゃないんです。農業は自分のペースでできるから気が楽で」と石川さんは笑います。



ハウレンソウを収穫する石川さん

近年は気温の上昇や急な寒波など、これまでの感覚が通用しない場面も増えました。それでも、雪が積もればビニールを揺らして落とし、強風が予想されれば補強を確認する。目の前のことを一つずつこなしていく。その姿勢は、自然に対しても変わりません。

サッカーと、自由な時間

石川さんのもうひとつの顔は、熱心なサッカーファン。試合があれば、横浜まで日帰り

で足を運ぶこともあります。「できない時は行かないし、行ける時は行く。それだけです」と石川さん。農業は忙しくもありますが、自分の裁量で時間を動かせる仕事でもありません。日々の営みの中に、さりげなく楽しみを織り込むのが石川さん流です。

農業を“自分の仕事”にする

今後について「ハウスは増やさず、現状維持が目標です」と笑いながら答える石川さん。一年を通して休むことなくハウスを稼働させている一方で、実は水稲も栽培しており、近隣の田んぼを引き受ける予定もあります。農地を荒らさないことも大切な役割。その営みが、地域の風景を守っています。

石川さんから教わったのは、農業は「やり方」よりも「向き合い方」なのだということ。大変さはあるけれど、自分で時間を組み立てられる



朝は収穫した野菜の配達から始まり、午後は収穫と袋詰め作業を行うそう

自由がある。向き合い方次第で、この仕事は「自分の仕事」になっていくのだと、石川さんの姿から感じました。



今後について話す石川さん

石川さんの野菜

石川さんが生産する野菜は、松江市内のJAグリーンつだやAコープ、みしまやで販売しています。取材時にも生産していたハウレンソウは、甘みが強く、濃緑でやわらかく、栄養価が高くておすすめなのだそう💡この機会にぜひ石川さんの野菜を手にとってみてくださいね😊💖



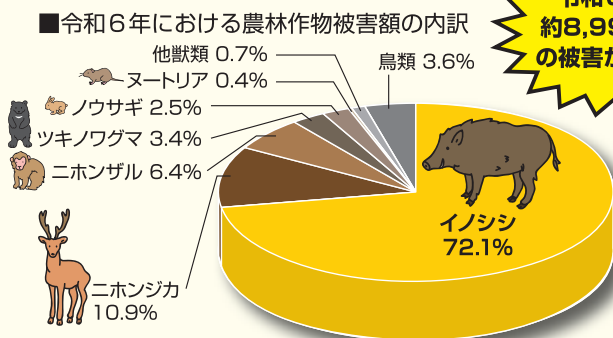
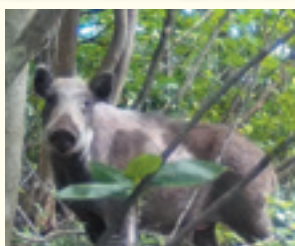
プチっと情報!

野生鳥獣による被害を防ぐために STOP!

県土の約9割を中山間地域が占める島根県では、イノシシやシカ、サルなどによる鳥獣被害が多く発生しています。鳥獣被害は食害などによる経済的被害の他に、営農意欲の減退やそれに伴う離農、耕作放棄地の発生の一因になるなど数字に表れる以上に深刻な影響を及ぼしています。今月号では、島根県農山漁村振興課鳥獣対策室に協力いただき、今からできる対策の基本について特集します。

県内の鳥獣被害発生状況

野生鳥獣による農林作物被害額は、7,000～8,000万円前後で推移しており、ピーク時より減っているものの高止まりしている状況です。鳥獣種別に見てみると、イノシシによる被害が最も多く発生しており、そのうち9割強が水稲被害です。



令和6年は約8,990万円の被害が発生!

鳥獣対策の基本の(キ)「まずは野生動物のエサ場にさせない!」

鳥獣対策では①出没抑制②侵入防止③捕獲の3つの対策を総合的にバランスよく行うことが基本。特に出没抑制対策で、野生動物を寄せ付ける「エサ」と「隠れ場所」を取り除くことが重要です。

放任果樹対策

管理・収穫されなくなった柿や栗などの果樹(放任果樹)は、動物にとって栄養価の高い御馳走です。果実の早めの収穫や不要な果樹の伐採、トタン板や電気柵を設置して動物が登れないようにするなどの対策をとりましょう。

トタン板巻き付け



野菜くずや熟れすぎた果実などを畑や庭に放置しない

畑や庭に捨てず、ゴミとして出したり、土の中に埋めたりして適切に処理しましょう。

草刈りで隠れ場所をなくす

草藪や茂みがあると人間に見つからずに身を隠すことができ、人里に侵入しやすくなります。定期的に草刈りなどを行いましょう。

隠れ場所を無くす草刈り



ちよと小話 ～島根県のクマのはなし～

昨年、全国的にクマによる被害が多く発生し、大きな話題となりました。

島根県に出没するツキノワグマは、西中国山地(島根・広島・山口)に生息する西中国地域個体群に属しています。

令和8年1月末時点での目撃件数は866件、捕獲頭数は93頭と、令和6年度と比較すると目撃・捕獲ともに少ない傾向にあります。

| | 令和6年度 | 令和7年度(1月末時点) |
|------|--------|--------------|
| 目撃件数 | 1,561件 | 866件 |
| 捕獲頭数 | 346頭 | 93頭 |

ツキノワグマを人里に近づけないためには、上記にあるように引き寄せるエサ場をなくすこと。特に放任果樹対策が効果的です。



◀クマに関する情報は
こちらから

STOP! イノシシ被害「防護柵設置のポイント」

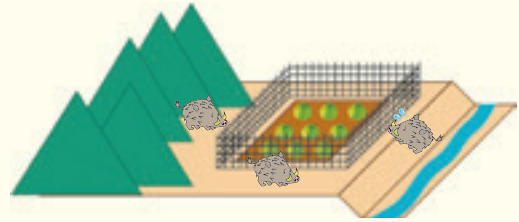
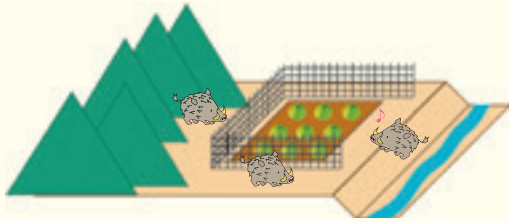
農林作物被害の多いイノシシの対策として、防護柵（電気柵・ワイヤーメッシュ）設置のポイントをご紹介します。作付け前に確認してみましょう！

Check 農地をすべてぐるっと柵で囲う

電気柵・ワイヤーメッシュ共通

× 悪い例 河川側に柵を設置していない

○ 良い例 農地全面に柵を設置している



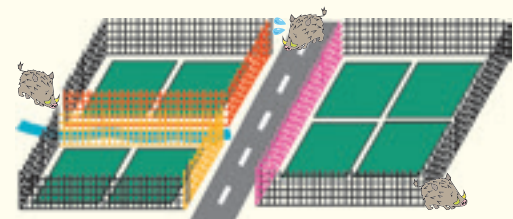
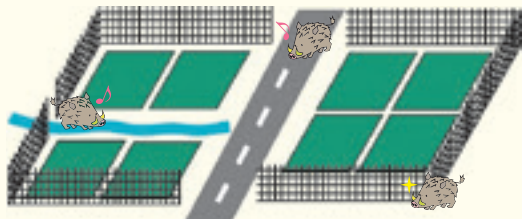
山側だけに柵を設置していても、回り込んで柵内に侵入可能
イノシシは柵の無い所から農地に侵入します。山側だけでなく、道路、河川、水路、傾斜地側など全て囲ってください。

Check 水路や道路を横断することで柵を途切れさせない

電気柵・ワイヤーメッシュ共通

× 悪い例 柵が途切れている箇所がある

○ 良い例 農地すべてが柵で囲われている



水路や道路にできた柵の切れ目から農地へ侵入可能
水路や道路で柵が途切れていると、イノシシはそこから侵入します。柵が途切れ無く、農地の周囲を囲いきれる範囲に分けて柵を設置しましょう。

Check 柵の地際や繋ぎ目にイノシシが通れる隙間を作らない

ワイヤーメッシュ

○ 良い例 凹凸や段差に合わせて隙間ができないように設置



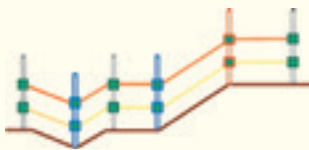
資材を多めに使い、隙間無く柵を設置することで、柵の連結部分に重なる部分が増え、強度も増す

柵と地面、または柵と柵の間にできた隙間から農地に侵入されないように、隙間を作らないようにしましょう。

Check 電線を地面から20cm、40cmの高さに維持する

電気柵

○ 良い例 地面から20cm間隔が保てている



地面の凹凸にあわせて支柱を設置

イノシシに電気ショックを与えるには、イノシシが鼻で電線に触る必要があります。そのためには、電線を地面から20cm、40cmの高さに設置することが重要です。

Check 定期的な点検・維持管理作業を行う ー防護柵設置後は、こまめに点検・補修を行いましょう！ー

ワイヤーメッシュ

○ 良い例
定期的な点検や維持管理作業を実施



破損した箇所を修繕した柵



柵周辺の下草が刈払われた柵

電気柵

○ 良い例
こまめに電圧をチェックし、漏電箇所があれば補修する



電圧を測る際は、アース棒を土に刺さず、地面に押し付けて測りましょう



◀ より詳しい内容は
こちらから

J Aしまねの竹下克美組合長ら本店常勤理事は、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。

農業の現場から声をつなぐ ～ふれあい訪問記～



今回の
訪問先

J Aしまね 島根おおち地区本部管内

●農事組合法人須摩谷農場 ●有限会社はらやま



落・農地を維持
することが一番
の目標だ」と今
後について話し
ました。

有限会社はら
やまは、菌床シ
イタケやブドウ
「ピオーネ」、神
紅（しんく）、
水稻を生産して

農事組合法人須摩谷農場は、水稻、
飼料用米（WCS）を生産し、約3
ヘクタールの牧草地で放牧による和
牛繁殖を行っています。また、J A
県央地区畜産総合センターに牛を預
けて省力化する他、飼料代などの経
費削減にも取り組んでいます。当日
は、同法人の植田眞二組合長と金山
功さんが経営概要や法人の成り立ち
を説明した後、集落営農の後継者づ
くりやその課題、放牧している子牛
の販売価格、邑南町の研修生受け入
れなどについて活発に意見を交わし
ました。植田組合長は「自分たちが
できる形で集



（農）須摩谷農場の植田組合長（左から2番目）と金山さん（右）と意見を交わす竹下組合長と日高副組合長



（農）須摩谷農場の放牧地にある牛舎を視察しました



（有）はらやまの三田社長と田野工場長に菌床シイタケ工場を案内いただきました



（有）はらやまの三田社長と田野工場長と意見交換会を行いました

います。当日は、同社の三田誠社長、
田野雅工場長と、繁忙期の労働力確
保の課題や特定技能外国人の受け入
れ、シイタケの生産量向上に向け新
たな品種の導入検討、「神紅」栽培
の広がりに伴い若い世代の新規就農
が増えていることなどについて意見
交換しました。三田社長は「神紅」
は価値が少なく収支的に良い。本
年産からJ Aへ共販出荷しているた
め、今後も高く販売いただきたい」
と要望。当J Aの竹下克美組合長は
「生産者の皆さんが高品質な『神紅』
を作ることに傾注いただけるよう、

J Aはしっかりとした販路で高単価
で販売していく」と答えました。





島根県養豚振興協議会が設立

島根県内の養豚生産者5戸により、島根県養豚振興協議会が設立しました。

同協議会は、後継者不足や衛生管理、スマート養豚の初期投資負担、輸入豚肉との価格競争など多くの課題に直面するなか、生産者が一体となり持続可能な養豚業を目指すことを目的に設立。

2月10日には浜田市のJAしまねいわみ中央地区本部で設立総会を開き、関係者ら約30人が出席。会長には設立準備委員会の代表を務めた株式会社島根ポークの永野雅彦代表取締役、副会長に有限会社邑智ピッグファームの笠岡凡臣代表取締役を選出しました。

永野会長は「生産者が努力することは当然だが、それだけでは経営の継続が難しい。行政や生産者が一体となって取り組んでいかなければ産業力を強くすることはできない」と力を込めました。



持続可能な養豚業に向け気持ちを一つにする関係者ら



若手酪農家組織が出雲農林高校の農業キャリアガイダンスに参加

県内の若手酪農家で組織するシマネホルスタインヤングサイアーは2月3日、出雲市の島根県立出雲農林高等学校が行う授業「令和7年度農業キャリアガイダンス」に講師として参加しました。

同授業は、県内の事業者を講師に招き、先進的な経営や取り組みなどを紹介することで、生徒らの地域産業への理解や地域課題解決の意欲を向上させようと毎年開催されています。

当日は、同校の動物科学科1年生34人を前に、同組織のメンバーらがそれぞれ就農した経緯や経営方針、取り組みなどについて説明。その後、5つのグループに分かれ、ローテーションしながら意見を交わし、生徒から「SNSライブ配信の反響は?」「カウコンフォートとは何ですか?」「乳量を安定させるために気を付けていることは?」などたくさんの質問があがりました。



生徒らと活発に意見を交わす同組織の大石巨太さん

カスタマーハラスメント対策基本方針を策定しました



JAしまねはこの度、カスタマーハラスメント対策基本方針を策定いたしました。

当JAは、基本理念「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」のもと、組合員・地域の皆さまを含めた利用者からのご意見・ご指摘に真摯に対応し、信頼や期待に応え、より高い満足を提供することを心がけています。

一方で、昨今、社会通念上相当な範囲を超えた要求や言動については、カスタマーハラスメントとして社会問題化しており、当JAにおいても職員の人格や尊厳を傷つけるこれらの要求や言動があり、職場環境の悪化を招くゆゆしき問題となっています。

当JAは、日頃の取引や対応において、組合員・利用者および取引先の皆さまに誠実に対応することを第一に掲げておりますが、仮に社会通念の範囲を超えた要求や言動が組合員・利用者および取引先の皆さまからあった場合には、毅然とした態度で組織的に対応いたします。

今後も引き続き、組合員・利用者および取引先の皆さまと良好な関係を築いていけるよう努めてまいりますので、本方針のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



カスタマーハラスメント対策基本方針は当JAホームページからご覧いただけます



「元気な地域」を女性部の力で!

隠岐女性部



JA女性組織3カ年計画

『『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で』の実践初年度です。

助けあい

学びあい

育てあい



の3つの重点テーマを掲げ活動します。

学びあい



JAしまね隠岐女性部は、部員が一致団結し「楽しく・やる気！」を合言葉に活動に取り組んでいます。地域のつながりを大切にしようと、年3回開催される市の(隠岐家畜市場)では、市場関係者の皆さんにお弁当を作っています。隠岐ならではの料理に舌鼓を打ってもらうことで、広く隠岐の島の食文化について知ってもらえるように取り組んでいます。



また、他の地区の食文化や歴史を学習するため、定期的に研修旅行を開催しています。昨年度は宮島を視察。改めて、昔の人の知恵や自然と共生しようとする考えは現在にも通じるものがあると実感しました。今後このような活動を通じて、SDGsへの理解と実践に取り組んでいきます。



一所懸命青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

JA YOUTH

JAしまね石見銀山青年連盟

はらだ 原田 しょうが 凌我さん

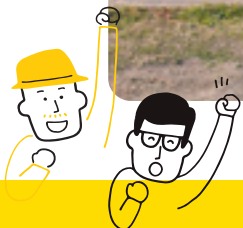


JAしまね石見銀山青年連盟(以下、農青連)に加入している原田凌我さん(21)は、ブドウ農家に生まれ、農林大学校を卒業後、大田市市島井町で父親が経営する「原田ぶどう園」に就農しました。現在は102アールの面積で「デラウェア」や「神紅」、「シャインマスカット」などといったブドウの栽培を行っています。

昨年、農青連に加入した原田さん。最年少ながらも物怖じすることなく挑戦を続け、持ち前の明るさと行動力で組織に新しい風を吹き込んでいます。活動にも常に全力で向き合い、ポン菓子加工では「ポン菓子打ち」として現場の中心に立ち、イベントを力強く支えています。

原田さんは就農1年目。将来は自らの農園を持つという大きな目標を胸に、毎日ブドウ栽培と真剣に向き合っています。失敗も経験もすべて糧にしなが、一歩一歩着実に成長を重ねています。

原田さんは「地域の伝統を守りながら、農業をもっと元気になりたい」と話し、そのまっすぐな想いと挑戦する姿勢が、これからの農業を切り拓く力になっています。



オクラ

園芸研究家 成松 次郎
※関東南部以西の平たん地を
基準に記事を作成しています。

密植栽培で生長を抑えて柔らかい実を楽しむ

アフリカ原産のオクラは暑さに強く、真夏に美しい黄色の花が次々に咲いて、実になります。一方で寒さには弱く、10度以下の低温になると生育が停止してしまいます。

品種

「アーリーファイブ」(タキイ種苗)、「ピークファイブ」(サカタのタネ)、「ブルースカイ」(ヴィルモランみかど)などの五角種や、大きく育っても堅くなりにくい丸さや種の「ヘルシエ」(タキイ種苗)、「みどり丸ノ助」(サカタのタネ)などがあります。

畑の準備

植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100g程度を散布して耕耘(こううん)しておきます。次に、1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)200gと堆肥2kgを施して土とよく混ぜておきます。元肥の窒素量が多いと実の付きが悪くなるので注意が必要です。2条植えではベッド幅は約90cmにし、地温を確保するため黒マルチを張ります。

種まき

高温性のため、まだ地温が低い時期に早まきしても発芽しにくく育ちも悪くなってしまいます。地温が15度以上になってから種まきします。

ポットで栽培して植え替える場合は、9cmポリポットに4、5粒まき、発芽後の間引きはしません(図1)。間引かずに栽培することで生長を抑制し、実が堅くなることを抑えます。じかまきでは株間30cm間隔に5、6粒の種をまき、1cmほど覆土して軽く鎮圧します。種は堅く吸水しにくいので、一晩水に漬けてからまくと良いでしょう。

管理

2条植え(またはじかまき)では条間約40cm、株間約30cmとし、本葉2、3枚の間引きをしていない苗を植え付けます(図2)。じかま

きでは本葉2、3枚のときに間引いて4本残します。

追肥は、1回目の収穫の開始時期に1平方m当たり化成肥料30g、それ以降は月2回、1回当たり1平方m当たり50gを与えます。マルチ栽培では、マルチをめくって畝の両側に化成肥料を散布します。

収穫ごとに着果した節の下の葉1、2枚を残し、その下の葉を取り除きます(図3)。摘葉は通風、採光が良くなり側枝の発生と着果を促します。

病害虫防除

アブラムシ、カメムシ、ハスモンヨトウは登録農薬で早めに防除します。なお、ネコブセンチュウが根に付くと生育が悪くなるので、前年作の野菜に被害があれば、他の畑または別の畝を選びましょう。

収穫

開花後7~10日の若いさやを、五角種は長さ7、8cm、丸さや種は長さ10~15cmで収穫します(図4)。日照不足や低温が原因で、実に米粒大の突起物ができる「いぼ果」

となる場合がありますが、食べても差し支えありません。

図1 苗作り

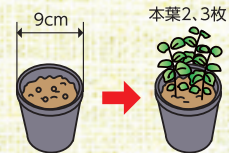


図2 植え付け

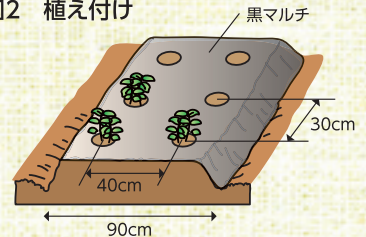


図3 収穫・摘葉

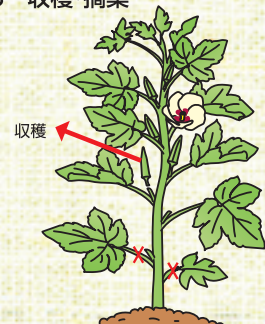
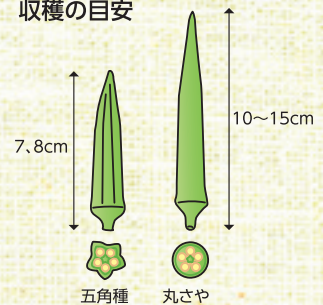


図4 収穫の目安



栽培カレンダー(オクラ)

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 冷涼地 | | | ● | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |
| 中間地 | | ● | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |
| 暖地 | ● | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |

●種まき ▲苗作り ▲植え付け ▲トンネル ▲生育 ▲収穫

「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」

をJAしまねホームページで連載中です。今月は「葉ジソ」!



理事会情報 (2月24日開催)

- ①しまねの有機農業・米粉の生産拡大検討プロジェクトにおける「米粉の生産拡大プロジェクト」分離について
- ②広域玉葱調製保管施設について
- ③中山間地における賑わい創出に向けた包括連携協定の締結について
- ④職制規程の一部改正について
- ⑤令和8年度事業計画について(中間協議)
- ⑥大口貸出金の承認について①
- ⑦大口貸出金の承認について②
- ⑧貸出債権の償却および遅延損害金の減免について

- ⑨組合と理事との取引(契約)の承認について一都度承認分一
- ⑩令和8年度における各種限度額について
- ⑪カスタマーハラスメント対策方針について
- ⑫常勤理事の担当業務の変更について
- ⑬行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ⑭定年延長の実施と就業規則等の改正について
- ⑮労災総合保険契約と役員普通傷害保険の見直しについて
- ⑯令和8年度内部監査計画について
- ⑰島根県常例検査書(斐川地区本部)の回答について
- ⑱島根県常例検査書(いわみ中央地区本部)の回答について



津和野町農林業問題研究集会

津和野町農政会議（永田寿秋会長）は1月30日、JAしまね津和野経済センター会議室に下森博之津和野町長、草田吉丸同町議会議長、島根県西部農林水産振興センター益田事務所古川武志所長、JAしまね西いわみ地区本部竹長隆本部長等を招き、津和野町農林業問題研究集会を開催しました。



永田会長挨拶

永田会長は挨拶で「肥料・飼料・農薬等資材価格の高騰に対する津和野町の物価高騰対策に感謝している。しかしいつまでも町の支援に頼りきった経営を続けるのではなく、私たちはどこかを見据えていかなければならない。農産物の価格転嫁といった出口部分を注視していく必要がある。昨年久しぶりに米価が上向いて、農家の皆さんは生産意欲が増したのではないかと思う。一方でこの価格が将来にわたって続くとは思えない。農家もこの価格が続くとは思っておらず、安定した持続可能な農業が行える価格を望んでいる。米に限らず全ての農畜産物において適正な価格を国が示すことも必要だと思う。国においては中山間地域農業に一定の理解が示されており、スマート農業の導入など労力の軽減と、安定した収益が得られる農業を行うことが、担い手の育成確保につながるものだと思う。今日は最も身近な町や県・JAの皆さんに現場の声を伝える良い機会であり、前向きな発言で有意義な時間を過ごしていただきたい」と話しました。

続いて下森町長、草田議長、古川所長が来賓を代表して挨拶を行い、下森町長からは津和野町における重点支援交付金の使途に関する報告があり、農業関係では肥料の高騰対策・有害鳥獣対策の拡充、林業の熊対策など今後の取り組みと方向性について説明がありました。

草田議長からは危機迫る有害獣の対策やスマート農業の振興など、提出があった要請書の中味を議会で共有し、充実した補助金確保に向けて取り組みの旨の話がありました。

古川所長は、全国の基幹的農業従事者が34万人減少し102万人となったことについて触れ、新規就農者を含めた多様な担い手の確保や、地域農業の重要性等について話がありました。

島根県における生産振興等に係る補助事業、津和野町における生産振興補助金等について、それぞれ担当者より説明を受けた後、各組織の代表者と関係機関のキャッチボール方式での意見交換が行われ、生産者側からの意見や要望・質問に対して可能な範囲での回答がありました。

中でも町の農林業の将来に大きな影響を及ぼしかねない、人材の育成・確保といった現場からの切実な意見・要望があり、重要課題として共有し継続して取り組むこととしました。

津和野町農政会議は、次年度に向けた町の農林予算の編成や施策に対する要請活動を行い、こうした研究集会で農業現場の窮状に対して理解を求めることで、関係機関と一体となって津和野町の農林業を前へ進める活動を行っています。



それぞれの組織の代表者からの貴重な意見・要望等に、関係機関の皆さんにしっかりと耳を傾けていただきました。



益田ミニトマト部会が通常総会を開催しました

益田ミニトマト部会（又賀直樹部会長）は2月6日、JAしまね西いわみ地区本部会議室において令和7年度の通常総会を開催しました。

開会にあたって又賀部会長から「昨年8月盆過ぎから出荷が始まり、10月に入り出荷量が減少した。販売面では計画には届かなかったものの昨年以上の実績が残せた。次年度は目標がクリアできるように頑張りたいと思う」と挨拶がありました。

続いて西いわみ地区本部竹長隆本部長は挨拶で「暑い中での収穫・出荷調整等でお疲れだったと思う。身体には十分ご留意いただき、引き続き益田ミニトマトの生産にご尽力を賜りたい。現在地区別座談会を開催しており、担い手不足の問題や令和8年産米価格に関するものなど様々なご意見がある。そうしたご意見にしっかりと耳を傾け地区本部の運営に活かしていきたいと思っています。今後とも部会で連携し頑張っていたきたい」と話しました。

続いて令和7年度における優績者の表彰を行い、最優秀賞に宅野和樹さん、優秀賞に有福良一さんが選ばれ二人に賞状と副賞が贈られました。

部会の慣例で又賀部会長が議長を務め慎重に審議を行い、全ての議案が全会一致で可決承認されました。

総会の議事に入る前に行われた実績報告では、広印広島青果・益田青果の各担当者から、熊本など他産地の状況が報告され、猛暑の中での作業や資材高騰等生産者の苦勞に対する労いと、次年度へ向けて継続した出荷依頼がありました。

益田ミニトマト部会では、令和8年産の出荷数量34トン（17万パック）、販売金額3,570万円を目標に掲げ取り組むこととしました。



「安全・安心・信頼のある産地づくりをめざして」 益田トマト部会通常総会開催

益田トマト部会（金山千年部会長）は2月17日、JAしまね西いわみ地区本部会議室において令和7年度通常総会を開催しました。

開会にあたって又賀副部会長は「間もなく始まる出荷作業に向けて体調管理に十分気を付けて、長丁場を乗り切ろう」と挨拶しました。

続いてJAを代表して竹長隆本部長は挨拶で、各地で開催中の地区別座談会の状況を繋ぎ、「引き続き体調管理のもと益田トマトの生産にご尽力いただきたい」と話しました。

島根県西部農林水産振興センター益田事務所農

業部の内部則夫課長、益田市産業経済部農林水産課の大庭健志課長の来賓挨拶の後、飯田町の澁谷記幸さんが議長に選任され、執行部から示された全ての議案を全会一致で可決承認しました。

益田トマト部会では令和8年産の年間の出荷数量9万8千ヶース、販売金額1億5,435万円を目標に掲げ、「市場に信頼される、責任あるトマトづくり」を目指します。





学業成就米を贈呈

J Aしまねが全県下で行ったこの取り組みは、今春3月に中学校を卒業する県内の中学3年生を対象に、新たな進路で力強く羽ばたいてほしいという願いを込めて、300グラム入りの「学業成就米」6,000袋を贈呈したものです。

西いわみ地区本部では、益田市・津和野町・吉賀町の15校438人の生徒に届けました。

津和野中学校を訪問した竹長隆本部長は、学業成就米贈呈の趣意書を読み上げ、「これから皆さんたちの時代。お米を食べてしっかりと学力・体力を身につけて、津和野町・島根県・日本を元気にしてください。お米は我々の主食であること、そして農業は日本の大事な産業であることを理解してください」と自身の思いを語り、J Aしまねの願いがこもった学業成就米を手渡ししました。



1月23日 西川友史理事が匹見町中学校へ届けました



1月26日 大場尚俊理事が益田中学校へ届けました



2月2日 竹長隆本部長が津和野中学校へ届けました

恒例となったJ Aしまね女性部「米一握り運動」

J Aしまね西いわみ女性部（大畑まきみ部長）は、「J Aしまね女性部米一握り運動」の取り組みで集まったお米を、管内の福祉施設へ届けました。「米一握り運動」はSDGsを基本理念に、J Aしまね女性部（高橋美佐子部長）が県下で取り組みを進めるもので、フードバンクや子ども食堂の運営者（団体）への支援を通じて、心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指すことを目的に、県下の女性部員が持ち寄ったお米を要望のあった施設・団体に届けています。

今回益田市社会福祉協議会を訪問した大畑部長は、この活動の主旨に触れた後、令和7年産玄米35kg・精米20kgを末成弘明会長へ手渡しました。また1月9日には、六日市支部森下美智子支部長、柿木支部小田恵美子支部長が吉賀町社会福祉協議会（佐古繁行会長）を訪問し、部員たちが持ち寄った令和7年産米13kgを届けました。「誰一人取り残さない」SDGsの精神と、食の安全や子どもたちの健全な成長を見守る「助けあい・学びあい・育てあい」を基本に、地域の笑顔を広げることを目的としたこの取り組みの趣意書を佐古会長へ手渡しました。



益田市社会福祉協議会

2月10日



吉賀町社会福祉協議会

1月9日



まちむらネットワーク

西いわみ女性部美都支部活動 ミニデイサービス

J Aしまね西いわみ女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は2月3日、美都町東仙道公民館でミニデイサービスを開催しました。

益田市市内にある音楽教室「Enjoy Music Association」の、松元明世さん・麻生久美さんの二人を講師に招き、1980年頃に親しまれたポップスを中心としたエレクトーンの演奏を聴き、椅子に座ったままで楽しめる曲に合わせた様々な動きにチャレンジしました。

指先や手のひらを使った準備運動に始まり、徐々にリズムカルな曲に合わせた上半身を使う動きへと変わり、グループに分かれてドレミパイプにも挑戦しみんな曲を奏でました。

2曲の童謡（どんぐりころころ・大きな栗の木の下で）を2組に分かれて1小節ごと交互に歌ったり同時に歌うゲームでは、自チームの曲を強調しようと声が大きくなる人や、両手で耳をふさいで相手グループの音調に引き込まれまいと頑張る参加者の姿がありました。

ゲーム中にもエレクトーンに合わせて歌詞を口ずさんだり、懐かしい曲をみんなで歌ったりと楽しい時間はあっという間に過ぎ、会の終わりに用意された女性部の皆さんの心のこもった昼食を、参加者全員で堪能しました。

テンポは上がって「YMCA」の曲で上半身運動



まずは童謡「金太郎」でゲー・バーの準備運動。



ドレミパイプを使って童謡「桃太郎」を全員で演奏しました。



ジャンケンで勝つまでバトンを次へ送れません。2組に分かれての対戦は大いに盛り上がりました。



広島市にある「広島ゲートパーク」を会場に、1月17日・18日に開催されたしまねふるさとフェアで、島根県を代表する美都町の柚子を使ったお馴染みの「ゆずっこ」や「柚香」のPR活動を行いました。

二日間のフェア当日は快晴に恵まれ、来場者も12万8千人と多くの人で賑わい、柚子産地づくり協議会で設けたブースでは、昨年の高い人気に倣って「ゆずっこ釣り」を計画、昨年の2倍のゆずっこ240本を準備し、より多くの人に楽しんでもいただくことが出来ました。

ゆずっこや柚香・ゆず味噌など柚子製品は初日から売れ行きが好調で、ゆずっこ360本・柚香（720ml・300ml）合計50本は早くに完売、その他柚子製品も全て完売することが出来ました。

しまねふるさとフェアに 参加出店しました



ブースでは美都町の柚子を中心に、益田市の魅力をPRしました。



フェア両日は快晴!来場者は12万8千人と大盛況でした。



つながる“絆”活動「スマイルデー・来店感謝デー」

JＡしまね西いわみ地区本部は、各支店で「目指す支店像」を策定し、目標像に近づくための取り組みを進めています。スマイル月間や来店感謝デーを融合した西いわみ地区本部の「つながる“絆”活動」は、各支店で企画したイベントや来店者へのプレゼントなど、目指す支店像の確立に向けて、それぞれ独自の取り組みを進め実践しています。

益田東支店



共済チラシの配布と粗品をプレゼント。
2月13日

益田中央支店



女性部下本郷支部の手作り干支飾り（家の光掲載）もプレゼントしました。
2月13日



焼き芋のプレゼントも行いました。
11月12日



花の苗をプレゼントしました。
12月15日

津和野支店



お菓子をプレゼントしました。
12月15日

西益田支店



お馴染みとなったミニコンサート
12月15日

経済センターも同様にお菓子をプレゼントしました。
12月15日



花の苗をプレゼント
12月15日



六日市支店



窓口では粗品をプレゼント。玄関先では㈱コダマサイエンスの協力でシロアリ相談会を実施。アンケートにご協力いただいた方へたまご10個入り1パックをプレゼントしました。
2月13日

この他にも季節に合ったイベントの開催や感謝デーの実施など、日頃のご利用に応えようと全ての支店職員がそれぞれのアイデアで、支店力強化と地域との融合に向け努力しています。



JAしまね西いわみ女性部が 地区本部役員・各部支店長と意見交換

JAしまね西いわみ女性部（大畑まきみ部長）は2月18日、西いわみ地区本部会議室において地区本部役員との意見交換会を行いました。

開会にあたり大畑部長は「日頃感じていることなど意見を出し合って、より良い活動ができるようにしたい。今日は宜しくお願ひします」と挨拶を行い、続いて役員を代表して竹長隆本部長がJAを取り巻く近況等を報告し、「しっかりと意見を拝聴し今後の事業運営につなげてまいります」と挨拶しました。

出席者全員で自己紹介を行った後、営農経済・金融共済・企画要望があり、内部協議を要するものを除き担当する所属長が回答する方法で行われました。

施設や事務手続きなど利用する立場からの率直な意見は、日頃の業務の中で見落としがちなものもあり、お互い今後の組織運営に活かせる貴重な意見交換会となりました。



今年の味噌の仕込みも終盤 西いわみ女性部津和野支部

2月21日

西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は毎年味噌づくりを手掛け、JAしまね津和野経済センター店舗や、道の駅津和野温泉なごみの里の売店などで販売しています。

半世紀近く女性部の仲間を受け継がれてきたこの味噌づくりは、津和野ヘルシー米の生産開始と同時に特別栽培米で麴作りを始め、現在でも西いわみヘルシー元氣米を麴に仕立て、地元を中心に西いわみ管内で収穫された大豆と合わせて仕込んでいます。

味噌の出来を左右する麴づくりは、気温が低く雑菌の少ない冬場に行われることが多く、味噌づくりは「寒仕込み」が最適とされています。この日も早朝から大豆の蒸し作業が行われ、湯気と蒸された大豆の香りが漂う工場内で、部員の皆さんは作業の準備に追われていました。

蒸しあがった大豆の温度が下がるまでの束の間の休憩を終え、適度に冷めた大豆を味噌摺り機にかけ、塩切りした麴と混ぜ合わせては用意した樽へ仕込んでいきます。年間の自家用の確保と販売目標に沿った味噌の仕込みは、在庫の影響等多少の増減はあるものの毎年凡そ25kgの樽に30本〜40本を仕込んでいます。



蒸しあがって冷めた大豆を味噌摺り機に通して潰します。



ソフトボール大の味噌玉を次々に投入し、樽内の空気を抜いて表面を均します。その後カビ防止や発酵を安定させるため、重しを置いて約1年間熟成を待ちます。



麴と塩をしっかりと混ぜ合わせることで、麴の発熱と腐敗を防止しその後の発酵を均一にします。



塩切りした麴と味噌摺り機で潰された大豆を混ぜ合わせてソフトボール大にします。





期限切れ廃棄農薬の回収を行いました



J Aしまね西いわみ地区本部は2月4日、益田グリーンセンターをはじめとする管内の支店や事業所等7箇所、使用期限が切れた農薬や空き容器などの回収を行いました。
搬入された薬剤や容器は、J Aの職員が粉剤・液剤・毒劇物・一般物等に仕分けした後、依頼した専門業者によって引き取られ適切に処分されました。

使用有効期限が切れて放置されたままの農薬や空き容器の処分は、生産現場における適正な在庫管理と個々の環境改善につながるとして、J Aでは廃棄プラスチックの回収と同様に重要な取り組みとして位置づけています。

米をはじめとする農産物の小売価格に注目が集まる一方で、生産者側は長引く肥料・農薬等資材価格の高止まりに苦慮し、少しでも費用の圧縮を図る努力をしています。

綿密な計画で事前に予約購入をしたものでも、想定外の病気や害虫等の発生状況によっては、散布薬剤を変更せざるを得ない場合があるため、時期を逸した薬剤が使用期限を過ぎてしまうといったケースもあります。

空き容器の適正な処理や使用期限が切れた高価な農薬の廃棄は、消費者に安全・安心な農産物を届けようとする、信頼を重視した責任ある農業者の取り組みです。

農業機械（刈払機）の安全使用研修会を開催



石西地域農林振興協議会（会長・山本浩章益田市長）は2月10日、益田市立開発地営農研修センターで刈払機の安全使用研修会を開催しました。この研修会に益田市・津和野町・吉賀町の認定新規就農者や認定農業者、美味しまね認証を取得した農業者等が出席し、農作業中の事故や危険を回避するための対策等について学びました。

はじめに島根県西部農林水産振興センター益田事務所から、近年の農作業事故の状況と熱中症の危険性について説明がありました。

続いて刈払機の安全操作について、株式会社やまびこの担当者から正しい使用方法や操作手順に関して、見落としがちな「使用前には必ず取扱説明書に目を通す」「作業中は必ず保護具を着用する」「作業中は15メートル以内に人・動物を近づけないこと」といった、機械本体にある警告表示ラベルを必ず確認すること等、重要なポイントの説明がありました。

最後に万が一に備える各種保険（傷害保険・労災保険・損害保険）の加入手続きや補償等内容についてJ Aから説明がありました。

全国で農作業中の事故による死亡者が毎年200〜300人と、就業者10万人あたりの死者数としては、一般交通事故の約5倍、建設業の約2.5倍に及び、機械作業による事故が全体の6割を占め、転落・転倒・誤作動等により機械の下敷きになる事例が多くなっています。





読者の俳句川柳

お題「鶯」

5月のお題は「子どもの日」です
ご応募お待ちしております

※締切※
令和8年
4/15
(当日消印有効)

- 我が声は 昔鶯 今鴉から子 (益田市 喜村 信江さん)
- 花粉症 俺も泣きたや ホーホケキヨ (益田市 齋藤 照平さん)
- 明け卒寿 今年も聞けた ホーホケキヨ (益田市 岡崎 雄一さん)
- うぐいすの 笹鳴ききいて 春を待つ (益田市 豊田 初重さん)
- 春告げる 鶯鳴く日の 空晴れて (益田市 佐々木 いさ子さん)
- 鶯や 今年も来たり わが庭に (益田市 大畑 藤子さん)
- 初音きく 見知らぬ人と 目があいぬ (益田市 柳井 文江さん)
- 初耳に 下手なうぐいす 快よし (益田市 村上 登美子さん)
- 初音かな まだまだ序ノ口 ホーホケキヨ (益田市 若林 和紀さん)
- 春告げし 鶯寄り添う 梅の香に (益田市 加藤 富之さん)
- 鶯の 声には勝てぬ 春の鳥 (益田市 田中 千代子さん)
- 今年又 鶯の歌で 春日和 (益田市 小笠原 かよみさん)
- うぐいすの 声が聞こえる 種準備 (益田市 両見 かすみさん)
- 長い冬 鶯鳴いて 春を呼ぶ (益田市 初山 敏子さん)
- 春だよー♪ うぐいす知らず ホーホケキヨ (益田市 加治 イトヨさん)
- ホーホケキヨ 山から春を 呼んでいる (益田市 椋木 節子さん)
- ホーホケキヨ 春を知らせる うぐいすさん (益田市 重田 伸子さん)
- 鶯の 鳴き方徐々に うまくなる (益田市 竹田 雅子さん)
- くちびるに 指あてて聞く うぐいすの声 (津和野町 潮 恵子さん)
- 鶯の 優しき声に 母徳ぶ (津和野町 三浦 保子さん)
- 初鳴きに 足取り軽く 散歩道 (津和野町 斎藤 久衛さん)
- ウグイスの 物真似下手に 耳ふさぐ (津和野町 大羽 克己さん)
- 鶯の 鳴き声真似る 口笛で (津和野町 大井 守さん)
- 森の中 姿見えぬも ホーホケキヨ (津和野町 日熊 春子さん)
- 鶯の 声にさそはれ 畑にでる (津和野町 中野 健一さん)
- 鶯も はねてむかえる 午の年 (津和野町 古山 包子さん)
- 鶯は のどかにうたい 響きゆく (津和野町 藤井 礼子さん)
- はげまして くれた鶯 声絶った (津和野町 高谷 喜里菜さん)
- ホーホケキヨ うぐいすの声 春つげる (津和野町 澁谷 美保子さん)
- うぐいすが 君の愛した 里で鳴く (津和野町 桑原 八恵子さん)
- 鶯が 歌ってみたい のどじまん (津和野町 豊田 往野さん)
- 鶯も 一杯入って たどたどし (吉賀町 竹中 和博さん)

応募方法 ●葉書に 俳句か川柳かを明記してください。 住所、氏名、電話番号をご記入ください。
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課

あなたが選ぶ一句

作品の応募と同時に選句もお願いいたします。

- ★当月掲載された全作品の中から良かったと思う作品を1句選び、翌月の作品応募時に「〇〇さんの句」と作者を明記してください。
 - ★最も多くの方に評価された作品(1句)を、翌月のこのコーナーで紹介させていただきます。
 - ★作品の応募は無くても評価の葉書は受け付けます。
- ※選句いただくのは4月号掲載作品からです。

4月号から

俳句コーナーと川柳コーナーに分けて掲載します。
俳句か川柳かを明確に記載して応募してください。

- ★俳句はこれまで通りお題に因んだ句を詠んでお送りください。
- ★川柳のお題は問いません。時季に合った物事や日頃思い当たる“あるある”などを詠んでお送りください。(俳句のお題を参考に詠まれても構いません)

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課 (0856) 22-1589

島根県農業協同組合 西いわみ地区本部 人事異動

1. 退職 [令和8年2月28日付]

| | | | |
|----------|--------|-----------------|----------|
| 【正職員】 | 橋本 智恵美 | 六日市支店柿木事業所長 | (定年退職) |
| | 西田 博明 | 西いわみ統括支店ローンセンター | (依願退職) |
| 【有期雇用職員】 | 神林 律子 | 日原支店金融共済課 | (依願退職) |
| | 澄川 佳子 | 六日市支店金融共済課 | (依願退職) |
| | 日高 規行 | 西益田支店金融共済課総合渉外 | (契約期間満了) |



橋本 智恵美さん

2. 採用 [令和8年3月1日付]

【有期雇用職員】 橋本 智恵美 六日市支店柿木事業所長

3. 異動 [令和8年3月1日付]

| 新任部署・職位 | 氏名 | 旧任部署・職位 |
|-----------------------|--------|-----------------|
| 本店 | | |
| 信用共済推進支援センター西部センター長補佐 | 畠山 博樹 | 六日市支店金融共済課長 |
| 石見銀山地区本部 | | |
| 統括支店ローンセンター係長 | 中村 勇太 | 西いわみ統括支店ローンセンター |
| 営農経済部 | | |
| 営農経済部長兼米穀課長 | 大崎 弘康 | 営農経済部長 |
| 営農企画課 | 城市 明美 | 営農経済部指導販売課 |
| 指導販売課 | 下瀬 将司 | 営農経済部西部畜産課 |
| 指導販売課 | 永戸 佐智子 | 企画総務部総務ふれあい課 |
| 米穀課 | 山上 寛太 | 吉賀経済センター |
| 西部畜産課長補佐 | 大谷 晋二 | 営農経済部経済課長補佐 |
| 西部畜産課 | 石橋 正太 | 営農経済部指導販売課 |
| 経済課長補佐 | 大畑 正一 | 益田東支店金融共済課長 |
| 西いわみ統括支店 | | |
| 西いわみ統括支店長兼共済課長 | 滝元 英二 | 西いわみ統括支店長 |
| 金融課長兼年金相談センター長 | 濱田 三郎 | 益田東支店次長 |
| 金融課年金相談センター | 石橋 八重子 | 六日市支店金融共済課総合渉外 |
| ローンセンター | 花本 未来 | 益田中央支店金融共済課 |
| 企画総務部 | | |
| 総務ふれあい課 | 澤木 希美 | 営農経済部営農企画課 |
| 益田中央支店 | | |
| 金融共済課 | 宮内 猛虎 | 益田東支店金融共済課 |
| 渉外推進課長 | 豊田 健二 | 西いわみ統括支店共済課長 |
| 渉外推進課 L A | 石川 創士 | 西益田支店金融共済課 L A |
| 益田東支店 | | |
| 益田東支店長兼経済課長 | 佐々木 暢 | 西益田支店長兼経済課長 |
| 次長 | 右田 裕之 | 益田中央支店次長兼渉外推進課長 |
| 金融共済課長 | 瀧川 怜 | 日原支店金融共済課長 |
| 金融共済課 | 田原 由加里 | 西益田支店金融共済課 |
| 経済課兼美都事業所 | 下山 弘美 | 益田東支店美都事業所 |
| 西益田支店 | | |
| 西益田支店長兼経済課長 | 大庭 伸次 | 益田東支店長兼経済課長 |



西いわみ地区本部からのお知らせ

| 新任部署・職位 | 氏名 | 旧任部署・職位 |
|--------------|--------|------------------------|
| 金融共済課 | 西迫 はるみ | 西益田支店中西事業所兼経済課 |
| 金融共済課 L A | 原田 利治 | 益田中央支店渉外推進課 L A |
| 金融共済課複合渉外 | 田中 蓮 | 営農経済部指導販売課 |
| 金融共済課総合渉外 | 佐々木 芳宏 | 益田中央支店金融共済課 |
| 中西事業所長兼経済課 | 青木 稔 | 西益田支店中西事業所長 |
| 津和野支店 | | |
| 金融共済課係長 | 山本 優 | 津和野支店金融共済課複合渉外 |
| 金融共済課 | 田原 光子 | 津和野支店金融共済課係長 |
| 金融共済課複合渉外 | 内田 絵理香 | 六日市支店金融共済課複合渉外 |
| 津和野経済センター長 | 永戸 秀一 | 津和野経済センター日原経済出張所長 |
| 日原経済出張所長 | 川上 幸夫 | 吉賀経済センター長 |
| 日原支店 | | |
| 金融共済課長 | 中川 智彦 | 西いわみ統括支店金融課長兼年金相談センター長 |
| 金融共済課 | 真庭 康世 | 益田東支店経済課 |
| 金融共済課 | 齋藤 真美 | 津和野支店金融共済課 |
| 六日市支店 | | |
| 金融共済課長 | 田中 章文 | 津和野経済センター長 |
| 金融共済課 | 尾崎 勝則 | 営農経済部米穀課 |
| 金融共済課 | 三浦 真由美 | 日原支店金融共済課 |
| 金融共済課複合渉外 | 赤松 心 | 六日市支店金融共済課 L A |
| 金融共済課総合渉外 | 菅本 和子 | 六日市支店金融共済課 |
| 吉賀経済センター長 | 吉部 大祐 | 営農経済部米穀課長 |
| 吉賀経済センター長補佐 | 中島 勇一 | 営農経済部西部畜産課長補佐 |

「おさいふカード」会員様へ

優待割引

| | |
|--------------|--------------|
| メガネ | 補聴器 |
| 8%OFF | 5%OFF |

メガネ一式 **13,200円**〜

1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

メガネ・補聴器の専門店 **PARIS MIKI**

令和8年 **4月度 JA巡回スケジュール** 西いわみ地区

| | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|---------|-----------------------|
| 1日(水) | 9時半～13時 | 匹見事業所 | 17日(金) | 9時半～13時 | 津和野経済C |
| 3日(金) | 9時半～14時 | 中西事業所 | 22日(水) | 10時～13時 | 六日市経済C |
| 7日(火) | 9時半～13時 | 匹見事業所 | 24日(金) | 9時～16時 | 益田グリーンセンター 大売り出し |
| 13日(月) | 9時～12時 | 西益田支店 | 27日(月) | 10時～15時 | Aコープラポ店前 (益田東支店) |
| | 13時～16時 | 益田中央支店 | | | |
| 15日(水) | 9時半～13時 | 匹見事業所 | 28日(火) | 10時～15時 | パリミキフェア 美都事業所(会議室) |
| 16日(木) | 9時半～13時 | 日原経済C | | | |

お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ **090-6955-1612** へ お気軽にどうぞ

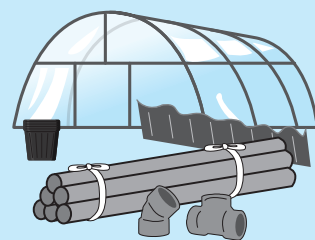


JAしまね 西いわみ地区本部 **農業用廃プラスチックの回収について**

| 回収実施日・時間 | 回収指定場所 | |
|--|--------|---------------|
| 令和8年 4月14日(火) 午前9:00～午前11:30 | 津和野町 | J A 津和野経済センター |
| | | J A 山下米倉庫 |
| | | J A 日原支店 |
| | 吉賀町 | J A 柿木事業所 |
| | | J A 六日市支店 |
| 令和8年 4月21日(火) 午前9:00～午前11:30 | 益田市 | J A 宮農センター |
| | | 河成集荷場 |
| | | 益田開発研修センター |
| | | J A 美都事業所 |
| | | J A 匹見事業所 |

回収対象物

- 肥料・飼料等のポリ袋
- 農業用ポリエチレンフィルム（農ポリ）
- 農業用塩化ビニールフィルム（農ビ）
- あぜ波板・育苗箱 等



処理物の分別方法 (分別にご協力お願い致します)

農業用フィルム
(農ポリ)

農業用フィルム
(農ビ)

肥料袋・
飼料等のポリ袋

あぜ波板・
育苗箱等

荷造りに
あたって
の注意点



荷造りは、処理の際に取扱いやすいよう、10kg程度の大きさにし、縛って下さい。

回収できないものについて 処理都合上、紙製品は回収できません。入れ物として持って来られた場合でも、中身を出してお持ち帰り頂きますのでご理解ご協力お願い致します。

※委任状を書いておりますので、必ず印鑑（引落しを行う通帳のもの）をお持ちください。
処理経費（110円（税込）/kg程度）については、回収実績（重量）に応じて、後日請求いたします。

島根県農業協同組合 西いわみ地区本部・石西地域農業用廃プラスチック適正処理推進協議会



島根県西部農林水産振興センターからのお知らせ

令和8年の水稲栽培が始まります!

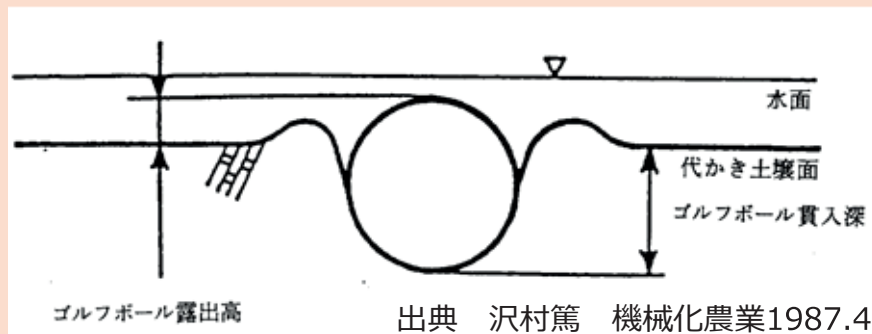
1. ほ場準備

耕起は深耕に心がけ、**作土15cm**程度を確保しましょう。

→作土が深いと根張りがよくなり、**収量増加・乳白粒の低下**が期待できます

★田植に適した代かき後の土の硬さは・・・

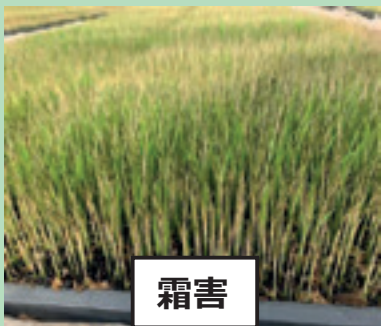
⇒ゴルフボールを1mの高さから落下させ田面から**±1cm**頭が見えるくらい



2. 育苗

育苗期間は温度管理に注意しましょう

- ・出芽期は**30~32℃**の**2日間**程度で出芽を揃えましょう
- ・緑化期は**20~25℃**、硬化期は**最低10℃~最高20℃**程度に下げる
- ・夜間の**低温**、昼間の**高温**には注意しましょう。病気発生や霜害の原因になります



★適切な温度管理に努めましょう

3. 田植え

- 植付深さは**2~3cm**程度としましょう
- 1株植付本数は**3本程度**とし分けつを確保しましょう
- 田植え後除草剤を効かせるために**1週間**は湛水状態を保ちましょう

お問合せは、島根県西部農林水産振興センター益田事務所まで (TEL: 0856-31-9612)

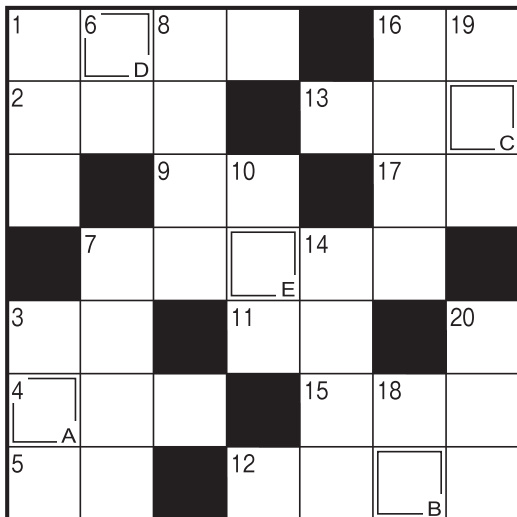
クロスワードパズル

農協全国商品券も
もらっちゃおう!!



二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|

タテのカギ

- ①潮干狩りでよくとれる二枚貝
- ③ガソリンは——性の高い液体です
- ⑥海に浮かべて目印にします
- ⑦ゴロゴロゴロ…ピカッ!
- ⑧工事が終わり建物が完成すること
- ⑩相撲を取る人のこと
- ⑭連載ではありません
- ⑯伊勢神宮は——と外宮に分かれています
- ⑰白神山を象徴する木
- ⑱トランプのJ、Q、Kのこと
- ⑳唱歌「春の小川」に出てくる花

ヨコのカギ

- ①ナノハナと呼ばれることもあります
- ②——は流流仕上げを御覧じろ
- ③若いメンドリが生んだものには二つ入っていることも
- ④桜が咲く時期ならではのレジャー
- ⑤竿や糸、針を使って楽しめます
- ⑦津軽、関門、ドーバーといえ
- ⑨セロリやミツバは——科の野菜です
- ⑰うわ、服にコーヒーの——がついちゃった
- ⑱北口榛花選手の専門種目
- ⑳お金を入れます。春に買うと「お金で張る」から縁起がいいそうです
- ㉑——転換しようと散歩に出た
- ㉒田植えに向けて育てます
- ㉓酔っぱらって巻く人もいます

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

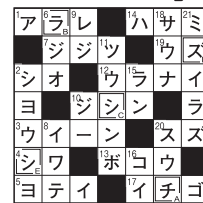
宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係
2026年4月3日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で105人の方からご応募いただきました。

先月号の答え

「チラズシ」



「家の光」4月号 定価900円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！



佳作
凍てし朝消火器の位置確めて
空っぽの教室広し卒業す
退院の願ひを託す福寿草
記念樹の枝垂紅梅一、二輪
極楽と首を出したる掘炬燵

西ノ島川上 茂様
吉賀町 村田 綾美様
出雲市 小豆澤典子様
出雲市 藤江智恵美様
吉賀町 竹中 和博様

心から笑へる春を待ちにけり

出雲市 北村 功様

いぬふぐり咲くや吉報予感せり

浜田市 沖田 邦子様

我が家にも世代交代餅を搗く

出雲市 森脇 英徳様

優秀賞

（評）島根とくに出雲地方は大きな地震がないと思っておりましたのに、相当大きかったですね。地震（ない）をすぐ詠まれましたね。

新年の地震にぐらつく石灯笼

安来市 斎藤美重子様

最優秀賞

俳句の広場
選句者「白魚火」編集長・副主宰
安食彰彦先生

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）4月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



JAの自動車共済にすると

選ばれてます!!

えっ!こんなに安くなるの!?

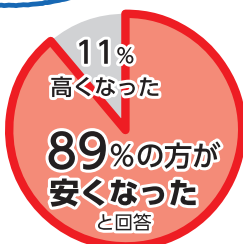
島根県で 約145,000台=約4台に1台 がJAの自動車共済です!!

令和6年3月末時点JA共済連島根調べ

島根県の方に
お聞きしました

JAの自動車共済
にしてどのくらい
安くなりましたか?

島根県JA自動車共済
新規契約者向けアンケート
(令和6年12月末時点)



JAの自動車共済ならこの保障内容で

“えっこんなに安くなるの”

と驚きのご提案ができるかも!※車種等によっては共済掛金が安くない場合もございます。

| 共済掛金例 | 軽自動車 | 普通乗用車 |
|--------|-----------------------|-----------------------|
| 車種 | 軽自動車 | 普通乗用車 |
| 車種保障 | 225万円の場合 | 330万円の場合 |
| 車種 | ホンダ N-BOX | 日産 セレナ |
| 車種 | 自家用軽乗用車 | 自家用普通乗用車 |
| 型式 | 型式: JF4 | 型式: FC28 |
| 車種保障なし | 月払 1,610円 一時払 17,770円 | 月払 1,530円 一時払 17,020円 |
| 車種保障あり | 月払 3,620円 一時払 40,290円 | 月払 4,350円 一時払 48,570円 |
| 全損書指保 | | |

(保障内容・ご契約例) 個人契約 / 共済期間: 12 か月 / 等級: 20 等級 (事故有償適用期間 0 年) / 運転者年齢条件: 35 歳以上限定保障 / 記名被共済者年齢階別掛金区分: 40~49 歳 / 車両保障: 有 (車両共済金額別掲)、免責金額 5 万円 / 対人賠償: 無制限 / 対物賠償: 無制限 (対物超過修理費用保障付)、免責金額 0 円 / 人身傷害保障: 3,000 万円 (被共済者限定特則: 有) / 傷害定額給付保障: 1,000 万円 (標準型、被共済者限定特則: 有) / レッカーロード費用保障事項: 有 / 弁護士費用保障特約: 有 / 長期優良契約割引: 有 (適用 1 年目) / ゴールド免許用掛金 / 自動継続割引: 有 / 新車割引: 有 (初年度登録: 令和 8 年 1 月) / ※各種割引の適用には一定の条件があります。※令和 8 年 1 月時点の共済掛金です。

お見積り依頼、お問合せはこちらから▶▶▶



お問合わせ先

JA共済連島根 普及事業部
TEL0852-31-3592

※掛金の試算や事務手続きについては最寄りの支店をご紹介します。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、(重要事項説明書(契約概要))を必ずご確認ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「契約のしおり(約款)」を必ずご確認ください。 2532990153

ビタパッション 50 プラス 1 ビタパッション 3000 プラス 1



滋養強壮、虚弱体質、肉体疲労・病中病後・食欲不振
栄養障害・発熱性消耗性疾患・
産前産後などの場合の栄養補給



スッキリとした後味の 100mL のドリンク剤です。

ほどよい苦味・甘味・酸味のバランスがとれたスッキリした味です。

クミアイ家庭薬です。



協同薬品工業株式会社

〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江3951-1

島根営業所

お問い合わせ先 平日 9 時~ 17 時

TEL (0853) 25-9166



島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

島根県『家の光』講師
飯塚生美子 先生

時短! 豚肉とペラペラ大根としいたけの早煮

材料 (4人分)

豚ロース切り落とし… 170g
大根…………… 400g
しいたけ…………… 3枚
だし汁… 2カップ (400cc)
A 酒…………… 大さじ2
薄口しょうゆ… 大さじ3
B みりん…………… 大さじ3
しょうが (すりおろし) …… ひとかけ
菜の花…………… 50g

作り方

- ①豚肉は大きいものは、食べやすい大きさに切る。
- ②大根は皮をむいて、縦半分になり、スライサーで薄切りにする。
- ③しいたけは石づきを取り除き、4等分のちよう切りにする。
- ④菜の花は食べやすい4~5cm長さに切る。
- ⑤鍋にAを入れて煮立て、豚肉、大根、しいたけを加えて強火で5分煮る。(アクが出たら、すくい取る)
- ⑥Bを加えてさらに5分煮る。
- ⑦最後に菜の花を加え、火を通して色よく仕上げる。

アレンジ

- ・豚肉を牛肉や鶏肉、油揚げにかえても美味しくできます。
- ・菜の花はアスパラガス、あずこ、きぬさや、ほうれんそうなど旬の野菜なら何でもOK!



コメント

- ・スピードあかす! 大根を薄くスライスすることで、火の通りがよくなり、あっという間に煮物が完成!
- ・3月頃のトウが立ちかけた大根も厚めに皮をむいてスライスするとおいしく食べられます。
- ・栄養と旨味がたっぷり蓄えられた春らしいたけ。ぷりぷりの食感と濃厚な味と香りも楽しめます。

カツオとアボカドの塩昆布サラダ

材料 (4人分)

カツオのたたき … 1冊(200g)
A アボカド…………… 1個
レモン汁…………… 小さじ1
プロセスチーズ…………… 2個
B ボン酢…………… 大さじ2
ごま油…………… 大さじ1/2
おろししょうが… 小さじ1
新たまねぎ… 1玉 (200g)
C サラダ水菜…………… 1袋
塩昆布…………… 5g
ミニトマト…………… 4個

作り方

- ①カツオは食べやすいひと口大に切る。
- ②アボカドは皮と種を取り除き、1~2cm角に切り、レモン汁をかける。
- ③ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、カツオとアボカドを加えて混ぜ、15分間浸けておく。
- ④プロセスチーズは1cm角に、新たまねぎは薄くスライスし、辛みが気になるようであれば、水にさらして水気をきる。水菜は根元を切り落とし、3~4cm長さに切る。ミニトマトは4等分に切る。
- ⑤Bを混ぜ合わせて、皿に盛り、③のカツオとアボカドを上に乗せて、チーズとミニトマトを乗せる。



コメント

- ・3月の初鯉は脂が少なくさっぱりしているため、油分や葉味を足すとよりおいしいいただけます。
- ・いつものカツオのたたきが、豪華なサラダに簡単変身!

アレンジ

- ・お好みのお刺身を使っても美味しくできます!
- ・野菜はレタス、ミックスリーフ、サラダセロリ、きゅうり、大根などいろいろな組み合わせを楽しめます。

JA 島根厚生連

健康散歩

春の気づき、耳の気づき

3月3日といえば、ひな祭りですね。この日は他にも3の字が耳の形に似ていること、「み(3)み(3)」の語呂合わせから「耳の日」といわれていることをご存じですか?

「耳の日」は、難聴と言語障がいのある人々の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められたもので、日本耳鼻咽喉科学会の提案により制定されました。この機会に、「難聴」について考えてみましょう。

難聴とは、音が聞こえにくい、言葉が聞き取りにくい、あるいはまったく聞こえないといった症状のことをいいます。耳が聞こえにくくなると、会話がうまく成り立たず、自信が無くなり、人との関わりが消極的になることがあります。

難聴には種類があり、原因によって主に以下の3つに分類されます。

- ・伝音難聴：音を伝える外耳や中耳に問題が生じている状態で、耳垢が詰まる耳垢塞栓や外耳炎・中耳炎などが原因で起こります。小さな音が聞き取りにくいものの、音量を上げると聞こえるといっ



た症状が現れます。治療には薬物療法や手術が有効で、改善が期待できる場合が多いです。

- ・感音難聴：音を判別する内耳や神経に問題が生じており、メニエール病、薬剤による内耳障害のほか、音響外傷、加齢が原因で起こります。音は聞こえていても、言葉として聞き取りにくいといった症状が現れ、めまいや耳鳴りを伴うこともあります。補聴器の装着や人工内耳手術が主な治療になります。その他、テレビや音楽の音量に気をつけたり、騒音がある場所は避けたり、適宜耳栓を活用するなど、日常の工夫で進行を遅らせることができます。
- ・混合難聴：伝音難聴と感音難聴の両方の原因が生じて起こり、両方の症状が現れます。感音難聴と同様に日々の心がけで進行を予防しましょう。

難聴は種類によって対処法が異なるため、早めの対処が重要です。「耳が聞こえづらい」と感じたら、早めに耳鼻咽喉科を受診しましょう。

【編集後記】2月上旬の寒波以降、気温が高くなり春の訪れを感じています。3年前の3月から広報誌の担当として広報誌を作ってきましたが、この3月号が最後の作成となりました。毎月締切に追われ慌ただしい毎日でしたが、読者の皆さんから届く感想を原動力に頑張ることができました! 皆さんありがとうございました◎これからの「しまねびより」もご期待ください♡ (古)